行動計画目標達成のために

次世代育成支援のための行動計画を策定し、目標達成にむけ各施設において経過を確認し、問題点があれば検証、解決のための努力とアイデアを出し合う。

目標1 男性社員の育児休業取得を促進する

令和6年度

$\stackrel{\wedge}{\boxtimes}$	職員本人の出産			1	名	(深川第	一病院)
				1	名	(新雨竜	第一病院)
$\stackrel{\wedge}{\Longrightarrow}$	職員の配偶者の出産			0	名		
$\stackrel{\wedge}{\Longrightarrow}$	女性職員の育児休業取得率		1 (0 0	%	(深川第	一病院)(雨竜)
$\stackrel{\wedge}{>\!\!\!>}$	男性職員の育児休業取得率			Ο	%		
$\stackrel{\wedge}{>\!\!\!>}$	配偶者の出産時の特別休暇取得	0名		Ο	日		
		名			日		
$\stackrel{\wedge}{\boxtimes}$	妊産婦健診の休暇	3名]	1 4	日	(深川第	一病院)
		1名		6	日	(新雨竜	第一病院)
$\stackrel{\wedge}{\simeq}$	子の看護休暇 (男性職員)	27名	(5名)	1	30.	9 目	(深川第一病院)
		5名	(1名)		21.	7 日	(新雨竜第一病院)
		2名	(1名)			4 日	(忘れな草)
		1名				5 日	(えんれい草・福寿草)
		1名			1	0 日	(GH信)
		2名				6 日	(デイ礼)
$\stackrel{\wedge}{>\!\!\!>}$	家族介護短期休暇	5名			17.	5 目	(深川第一病院)
		1名			2.	4 日	(新雨竜第一病院)
		1名				5 目	(デイ礼)

目標2 業務効率の改善により、所定時間外労働の削減

年次有給休暇の取得の促進 消化率を10%ポイントあげる

令和6年度 有給休暇取得率実績 (令和5年度)(令和6年度)

深川第一病院 77.37% 75.65% ↓ 1.72%× エーデルワイス R6.10 まで 50.5% 86.5% 85.8% ↓ 0.7%×

(令和5年度)(令和6年度)

忘れな草 安寿ケアセンター えんれい草・福寿草 GH信 デイ礼		37.8% 83.6% 77.4% 51% 54.81%	$60.29\%\uparrow 22.49\%$ $78.5\%\downarrow 5.1\%\times$ $94.2\%\uparrow 16.8\%$ $76\%\uparrow 25\%$ $38.25\%\downarrow 16.56\%\times$
令和6年度 所定時	間外労働	(令和5年度)	(令和6年度)
深川第一病院 エーデルワイス R6.10		129時間 170.96時間	87.23時間 92.53時間
新雨竜第一病院		97.17時間	90.3時間
忘れな草	"	93.54時間	66.38時間
安寿ケアセンター	JJ	2. 3時間	0 時間
えんれい草・福寿草	JJ	2. 5時間	6. 7時間
GH信	<i>II</i>	40.57時間	13.44時間
デイ礼	IJ	22.89時間	9.86時間

目標3 インターンシップ受入・職場体験受入・実習受入の拡大

前年度の10%増を目標にする

令和6年度 職場体	体験・実習受入数	(令和5年度)	(令和6年度)
深川第一病院	(職場体験)	0人	4人
	(実習生)	0人	2 人
エーデルワイス R6.10	まで (職場体験)	0人	0人
	(実習生)	0 人	0人
新雨竜第一病院	(職場体験)	0 人	0人
	(実習生)	0 人	0人
忘れな草	(職場体験・実習生)	0 人	0人
安寿ケアセンター	(実習生)	0 人	0人
えんれい草・福寿草	(職場体験・実習生)	1人	1人
GH信	(実習生)	0人	0人
デイ礼	(職場体験)	0 人	0人

行動計画目標達成のために

女性の活躍できる雇用環境をつくるための行動計画を策定し、目標達成にむけ各施設において確認し、問題点があれば検証、解決のための努力とアイデアを出し合う。

目標1 管理職に占める女性比率を30%とする

課長級にある者に占める女性労働者の割合

目標2 女性の各種休業後職場復帰、再就職、再雇用の支援

女性職員が継続して就労することを定着させる

事業所内保育施設いちご利用(育児休業後他)

深川第一病院 4名

目標4 年次有給休暇の取得の促進 消化率10%の向上

有給休暇取得率

次世代法有給休暇取得率を参照とする

女性活躍推進法に基づく男女の賃金の差異の情報

対象期間:令和6年度

区分	男女の賃金の差異
全労働者	55.6%
正職員	60.4%
パート・有期職員	1 3 5. 5 %

男性医師が多いための格差と考察されます。